

平成 30 年度 京都市域地域医療構想調整会議（Dブロック会議）

の開催概要（第 3 回）（平成 31 年 1 月 25 日）の審議内容

開催日時

平成 31 年 1 月 25 日（金曜日） 14 時から 16 時まで

開催場所

京都府医師会館 3 1 0 会議室

出席委員

出席者名簿のとおり（35 名）

審議の概要

報告事項

（1）地域における各病院の担う役割について

- ・資料により、各病院から説明

（2）各団体の在宅療養等に係る役割と今後期待すること

- ・発表により、各団体から説明

＜主な発言＞

- ・心不全患者の在宅復帰について、病状等をいかにコントロールするかが大切。
- ・必要に応じて入院する場合などで地域包括ケア病床を活用したいが、3ヶ月の縛りもあって運用が難しい。
- ・透析患者が退院する際の在宅・施設入所の調整など、ケアマネージャーとの連携を進めている。
- ・地域連携室機能の拡充を予定している。
- ・地域包括ケア病棟の運営のためにも、ケアマネージャーとの連携は不可欠と考えている。
- ・緩和ケア病棟でも、一時在宅の希望は増えており、訪問看護師やケアマネージャーとの連携を進めている。
- ・心不全後、ADL低下で再入院する人も増えている。
- ・在宅に向けた家族の理解が進んでいないという要因もあり、ケアマネージャーなどと連携し

て在宅での受入体制を整えることが重要。

- ・がん治療で外来薬剤療法が増えている。副作用のモニタリングなどもあるので、薬剤師へも適切な情報提供をしてほしい。
- ・薬局の居宅管理指導料が浸透していないと感じる。

(3) 連絡事項

- ・次回が今年度最後のブロック意見交換会となる。
- ・未発表の病院、各団体には資料の作成及び発表をお願いする。
- ・病床機能報告の提出（提出いたかどうかの確認）をお願いする。